

美濃の国・羽島
完全攻略ブック



周辺ガイド



●美濃竹鼻ふじまつり●

竹鼻別院には、樹齢300年以上の見事なフジ（県指定天然記念物）があり、4月下旬～5月上旬の開花に合わせて、ふじまつりが開催されます。



●市歴史民俗資料館・映画資料館●

歴史と伝統にはぐくまれた先人たちの遺品や大衆娯楽でにぎわった映画の資料を一堂に展示。竹ヶ鼻城跡の記念碑がすぐ前にあります。



●本覚寺絵天井●

竹ヶ鼻城主歴代の菩提寺。本堂に描かれている絵天井「雲龍」は県重要文化財に指定されており、幕末の大和絵師浮田一恵斎が勤王の志士として、隠棲しながら書き上げたものです。



●大仏寺●

大仏寺には、永田佐吉翁が建立した大佛や延命地蔵が安置されており、毎日のようにたくさんの人々が訪れ参拝しています。

●ふじに魅せられて●



一本の幹から
咲きほころぶ藤の花
甘い香りの誘い



周辺ガイド



●間得寺●

繁華街に点在する寺院。そのたたずまいには、昔のおもかげをしのぶことが出来ます。銅板ぶきの美しい鐘楼門は山門の役目も果たしています。



●竹鼻の古い家並み●

城下町の風雅なたたずまいを感じさせる古い家並み。格子戸や瓦屋根、のれんなど古き良き時代絵巻がよみがえってくるようなそんな気がします。



●竹鼻別院●

竹鼻別院には幕臣で治水工事の御小人目付として、一之手（羽島市桑原輪中から愛知県神明津輪中まで）を担当した竹中伝六の墓があります。



●浄栄寺●

市文化財に指定されている釣鐘は、明治時代の神仏分離の際に、名古屋の東照宮より譲られたものです。



●正法寺の松●

庭園の中心に「臥龍の松」があります。一本の松から見事にのびた枝で龍をかたどっています。芭蕉の句碑も立っており、いにしへの昔をしのばせます。



●光照寺●

檜一本造りの十一面観音像は、室町時代の作で、市文化財に指定されています。徳本上人の念仏塔もあります。

竹鼻別院のフジ

●目通り周囲 2.80m ●根回り周囲 2.30m ●枝張り 東西 33.00m
●枝張り 南北 15.00m ●樹高 2.40m (棚に誘引き) ●樹齢 300年以上

フジはマメ科の落葉つる性植物で、つるは極めて長く伸びて、右巻きに他物に巻き付きます。葉は互生し、奇数羽状複葉、初夏に紫色の花房を垂れます。花後できる莢（さや）は長楕円形、長さ20センチ前後で、つるは強靱で物を縛ったり籠を編むのに使用されました。

竹鼻別院のフジは樹齢が300年以上の古木で、市内では唯一の県指定天然記念物に指定されています。4月中下旬には四弁薄紫の蝶形の花を総状花序に垂れて開き、その優艶な長い花序は晩春を飾るにふさわしいものです。

エリアMAP



●お囃子に誘われて●



江戸時代のハイテクと
モダンアートです。



●竹鼻まつり●

毎年5月3日に行われる竹鼻まつりは、竹鼻町にある八剣神社の祭礼で、絢爛豪華な山車（県指定重要有形民俗文化財）が、八剣神社で奉芸を行った後、各町内の会所を巡りながら、町中を練り歩きます（半数ずつの隔年交互曳行）。山車は、きらびやかな大幕・見送りをまとい、芸術的にも大変素晴らしいものです。ぜひ、一度ご観覧ください。



つばき姫

天つばき

竹鼻まつりの山車



●宮町の山車●

子どもの手踊り
大部分は明治20年に完成



●大西町の山車●

カラクリ人形（湯取神子）
年次不明、嘉永元年と明治21年改修



●上鍋屋町の山車●

ぬいぐるみ（ほてい踊り）
明治37年大垣久瀬川より購入



●下鍋屋町の山車●

カラクリ人形（唐子肩車太鼓打ち）
天保年間の作、明治・大正各初年に改修



●川町の山車●

子どもの手踊り
宝暦年間と伝えられる



●下城町の山車●

子どもの手踊り
寛政6年、改修文久3年



●上城町の山車●

カラクリ人形（唐子鉦叩き太鼓打ち）
寛政6年、改修嘉永元年



●福江町の山車●

カラクリ人形（唐子文字書き）
天明から寛政頃



●新町の山車●

子どもの手踊り
震災で焼失、明治38年再建



●中町の山車●

子どもの手踊り
震災で焼失、一時奥町の山車を
購入使用、大正2年に再建



●本町の山車●

手踊り
震災で焼失、明治43年に再建



●上町の山車●

カラクリ人形（勅使、岩船竜人）
濃尾震災で焼失、明治32年再建



●今町の山車●

子どもの手踊り
幕末一町内として独立、
大正中期に新造



●八剣神社●

祭神として日本武尊を祀る神社で、創立年代は不明ですが、天正9年（1581）竹ヶ鼻城の鬼門除けとして、現在の地に移転したと伝えられています。



すぐに散るから
よけい美しいのです。

●Hashimaつばき・桜まつり

3月中旬～4月上旬頃に市民の森羽島公園と羽島市文化センターを会場に繰り広げられる、羽島に春の訪れを告げるイベントです。



●市民の森羽島公園

四季折々の花木約4万本が植えられ、万葉庭園・俳句庭園・利休庭園・椿庭園に区画され、屋外ステージ・芝生広場・遊具などがあり家族づれや若人で賑わっています。



●羽島市文化センター

羽島市が文化芸術活動と生涯学習の中核施設として建設したもので、全国に誇れる設備と機能を備え、優れた音楽、舞台芸術の公演はもとより、各種学習活動が展開できる施設です。



●羽島市立図書館

蔵書能力が約20万冊を誇り、コンピューターによる検索システムを導入しています。また、「音声・画像コーナー」や、子どもたちに絵本を読み聴かす「おはなしコーナー」など、気軽にご利用いただける施設が整えられています。

エリアMAP



年に一度しか
会えない二人です。

●美濃竹鼻七夕まつり

7月下旬頃に羽島市の伝統産業である繊維業・地域の活性化を目的に開催されます。ゆかた姿でお出かけくだされば、一層楽しんでいただけることでしょう。

天下の奇祭?!

●美濃竹鼻なまずまつり

10月下旬頃に開催される「天下の奇祭?!」。市の活性化を目指してなまずみこしコンクールなど、多種多様なイベントが行われる新しい、そして楽しい祭りです。



エリアMAP



●商店街

羽島市の中心部となっている竹鼻商店街です。「ふじまつり」「竹鼻まつり」「七夕まつり」「なまずまつり」「代々まつり」などの会場にもなり、絶えず盛り上りを見せてます。



●御坊瀬戸広場

竹鼻商店街の中にある御坊瀬戸広場が、第10回緑のデザイン賞審査会にて建設大臣賞を受賞しました。緑あふれる憩い・出会い・イベントの場所としてご利用いただいています。



●濃尾大花火 (羽島市・一宮市 市民花火大会)

木曽川を隔てた羽島市と一宮市が、県境を乗り越え協力し、5,000発の大輪を真夏の夜空に咲かせます。中でも、東海地方屈指の壮大な「20号 (2尺玉)」の打ち上げは一見の価値あり。これを見なくては、羽島の夏は語れません。



羽島の花とまつりカレンダー

Hashimaつばき・桜まつり ●3月中旬～4月上旬

美濃竹鼻ふじまつり ●4月下旬～5月上旬

美濃竹鼻まつり ●5月2日・3日 (3日本楽・山車曳行)

代々まつり ●7月1日・15日

大賀ハスまつり ●7月上旬～下旬

美濃竹鼻七夕まつり ●7月下旬

濃尾大花火 (羽島市・一宮市 市民花火大会) ●8月14日

円空大祭 ●8月18日

いちのえだ田園フラワーフェスタ ●8月中旬～下旬、10月中旬～下旬

平方勢獅子 ●10月第2日曜日

美濃竹鼻なまずまつり ●10月下旬

羽島美濃菊展 ●11月上旬



●三川分流

明治時代になって、政府はオランダ人技師のヨハネス・デレーケを招き、三川分流の本格的な改修に取り組みました。デレーケは木曽三川の完全分離、蛇行した川筋の整理、堤防の強化などの設計をしました。工事は明治20年に始められ、25年の歳月をかけて明治45年に完成しました。薩摩義士による宝暦治水、そしてこの改修工事を経て、流域の人々はやっと洪水の危険から解放されることになりました。今では、三川それぞれ美しい流れをたたえる川となっています。



●薩摩義士の墓 (清江寺)

薩摩義士の3人 (瀬戸山石助、平山牧右衛門、大山市兵衛) の墓。清江寺住職鉄船師が、彼らの死を悼み手厚く葬ったといわれています。



●石田の猿尾

木曽川の河川敷から土手のように突き出した2つの猿尾が見えます。この猿尾は、薩摩藩による御手伝普請として名高い宝暦治水工事により築造されたものです。



●中野渡船

ここの石灯明は、幕末の頃、旧城屋敷の有志によって建設されたもので、正面に「常夜燈」左側面に「不動明王」と刻まれています。

関連ガイド



●中観音堂・羽島円空資料館●

円空生誕の地といわれる上中町中にある中観音堂・羽島円空資料館には、この本尊である「十一面観音像」やその他16体の円空仏を間近に観ることができます。



●長間薬師寺●

薬師如来像をはじめ、9体の円空仏が安置されています。中でも薬師三尊像と護法神像は、円空上人の初期作品のうち、最も優れたものだといわれています。



●羽島市民会館●

羽島市民会館の側面に描かれた日本一大きな円空仏？。

●街角の円空●

道行くドライバーに、安全運転を願うかのように優しくほほ笑んでいます。



(新幹線岐阜羽島駅北口前) (足近町3丁目交差点)

●巨大円空モニュメント●

円空上人の偉大な事業を讃えるため、羽島市円空顕彰会によって建立されたものです。

●円空上人のふるさと●

日本には
モナリザの代わりに
円空仏の
微笑がありました。

円空は、寛永9年(1632)現在の羽島市上中町に生まれ、洪水で非業(ひごう)の死を遂げた母の供養のために出家したといわれ、行基の徳を慕って、全国を行脚する放浪の旅に出ました。放浪の中で円空は、庶民の幸福を願って12万体の彫刻を請願しました。



ふんやんちゃん

ふんやんくん

●十一面観音像●

全長：222.0cm 材質：ヒノキ

円空ギャラリー



●護法神像●

全長：50.9cm 材質：ヒノキ



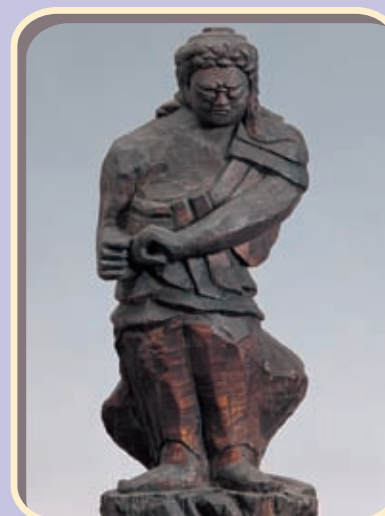
●南無太子像(左) 鬼子母神像(右)●

(左) 全長：102.5cm 材質：ヒノキ
(右) 全長：103.5cm 材質：ヒノキ



●護法神像●

全長：46.2cm 材質：ヒノキ



●不動明王像●

全長：73.9cm 材質：ヒノキ



●薬師三尊像●

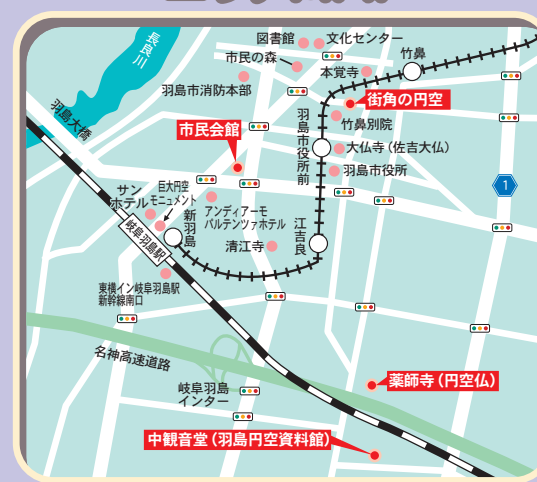
薬師如来像(中) 全長：93.3cm 材質：ヒノキ
脇侍坐像(左) 全長：75.9cm 材質：ヒノキ
脇侍坐像(右) 全長：75.3cm 材質：ヒノキ



●神像坐像●

全長：58.0cm 材質：ヒノキ

エリアMAP



※この他、金宝寺・徳林寺にも円空仏が保管されています。(6ページ参照)

周辺ガイド



●小黒川渡し●

境川のこの辺りは小黒川と呼び、定渡船1艘に船頭が7人おり、大きな行列の通行には船橋がかけられました。



●太神社と秋葉社●

堤防上の右手に大きな紅葉の木があり、その下に太神宮と刻む石燈明と秋葉社がまつられている。



●一乗寺●

源平合戦の後、人の泣き叫ぶ声などが聞こえて人々は大変困っていました。そこで地藏尊をまつり、供養したそうです。



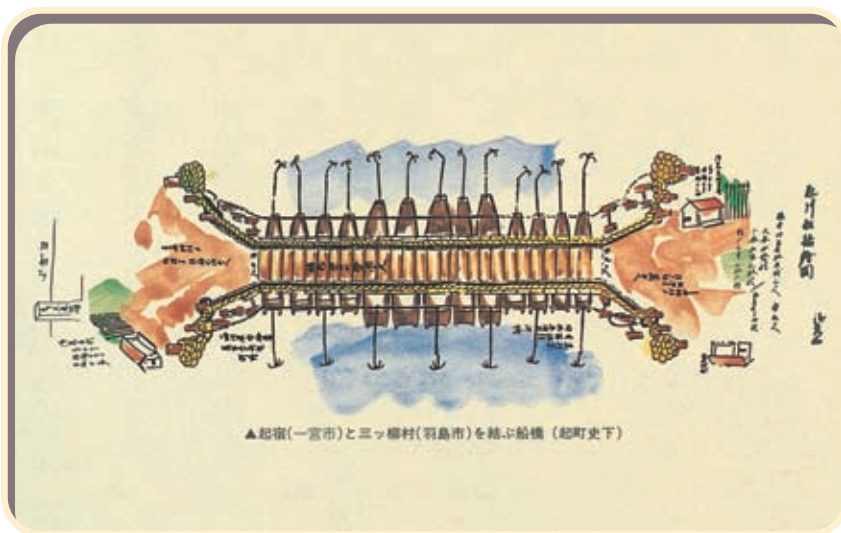
●一里塚(東小黒)●

堤防上の左手に大きなイチヨウの木があり、標柱が立っています。

●美濃路ロマンチック街道●



徳川家康が
勝利の喜びを
噛み締めながら
歩いた道です。



美濃路

美濃路は、東海道の宮宿(名古屋市熱田)から、中山道の垂井宿までの約57.5kmの街道です。徳川家康が、関ヶ原合戦後に凱旋の帰路としてこの路を通ったことから、「吉例(きちれい)街道」とも呼ばれ、交通量も多く重要な脇街道でした。

この歴史とロマンのある美濃路は、当市を東西に通過しており、特に市北部(小黒町・足近町)の境界を流れる境川堤防の桜並木は見事です。

また、平成16年12月には(社)日本ウォーキング協会主催の「美しい日本の歩きたくなるみち500選」(国土交通省後援)に、「はしまの美濃路」が選ばれています。



周辺ガイド



●西方寺●

羽島市で最古の寺。もと太子堂でしたが、後に天台宗、さらに13世紀の初め住職西円が、親鸞に教えを受け浄土真宗に改めました。



●間の宿●

足近小学校の南にある古い門構えの家は、かつて美濃路の小休所として大変繁盛していました。休息した諸侯の休息札も残されています。



●式内阿遅加神社●

式内社で、祭神は日本武尊。近世には八剋宮といい、足近十郷(足近輪中内の村々)の惣社である。社地に雨石があり、雨乞いに参拝する人も多くあります。



●一里塚(不破一色)●

正木小学校の西門右側に一里塚跡の標柱があります。かつては径9m・高さ3mの土盛りがありましたが、当時の面影はありません。



●坂井の道標と辻地蔵●

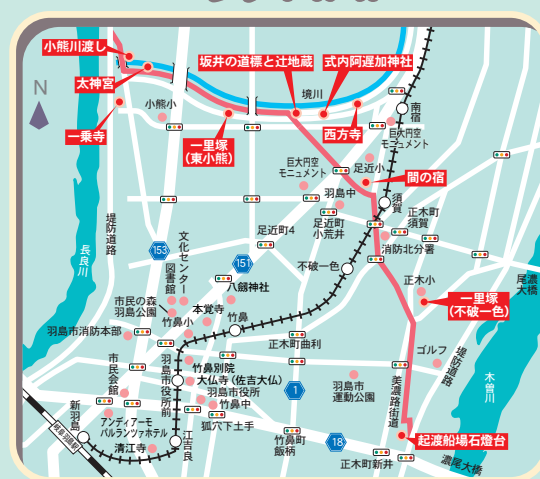
堤防に上った所に西方寺への道標が立ち、その脇に「右笠松 西方寺道」「すぐ墨俣 大垣道」と刻む小さな辻地蔵が2体あります。



●起渡船場石燈台●

明和7年に建てられたこの石燈台には、文学者の龍公美の漢詩が刻まれています。口碑によると、夜渡船で難儀をした竹鼻出身の力士が、油代として田二反を併せて寄進したそうです。

エリアMAP



はすつ良&はす太良の



「おじいちゃんに聞いたむかし話」

薩摩義士への感謝は、今でも忘れていません！



平田鞠負像(鹿児島市)

親切で
人に好かれた
佐吉さん！

永田佐吉翁は、二宮尊徳と同様、
国定教科書に載った偉大な人物です。元禄14年(1701)、竹ヶ鼻の小農に生まれ、少年時代に奉公に出て、仕事と勉強に精を出し、奉公を終えわた屋を営む傍ら、仏を敬い、公益に尽くし、幕藩体制転換期の難しい世を、自らの信念である慈悲深さで生き抜いた美濃の聖人なのです。



佐吉大仏にはもう一体、
幻の佐吉大仏があった？！

竹鼻大仏とも呼ばれる佐吉大仏。
信心厚かった永田佐吉が、仏様のご恩に報いるために遠く江戸に発注して建立した大仏様ですが、言い伝えによると現代の私たちが拝観している佐吉大仏のほかにもう一体、別の佐吉大仏があったそうなのです。
江戸で出来上がった大仏様は太平洋を船で運ばれてきたのですが、難所と言われる遠州灘まで来たとき、強い風波を受けて船が沈んでしまいました。船人たちはなんとか助かりましたが、大仏様はもちろん海の底へ。それを聞いた佐吉は、「遠州灘は船の難所で、これまでたくさんの船が遭難してきたと聞きます。その海へ私の大仏様が沈んだことは大変にうれしいことです。これからは大仏様が大いに船人をご加護してください。謝罪されるには及びません」と言い、お詫びに来た船人たちを逆に励ましたそうです。そしてもう一度、大仏様を発注し、それが今の佐吉大仏になりました。
そうです、もう一体の佐吉大仏は確かに存在したのであり、それは遠州灘の海底で今も静かに海を行く人々の安全を見守り続けているのです。

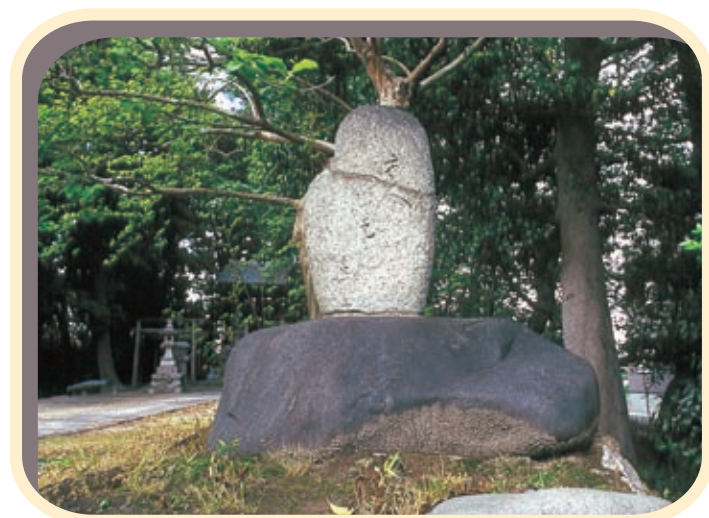


平方勢獅子は村人の
アスレチックのためだった？！

毎年10月の第2日曜日、市内福寿町平方にある八幡神社で、古くから同地区に伝わる平方勢獅子の舞が奉納されます。
平方勢獅子は江戸時代初期に、永照寺の六代住職が村人たちに呼びかけたのが始まりとされますが、後に歌舞伎の勢獅子が取り入れられて完成します。伊勢系の神楽の古い型が伝わっているとも言われ、岐阜県の無形民俗文化財に指定されています。「幣の舞」「勢獅子」「遊猿の舞」「剣の舞」「狐釣り」「夫婦和合の舞」「天狗の舞・5人持ち」の7つの舞台に分かれています。この中の「5人持ち」は何のことか分かりますか。実は言葉通り、5人の人間を1人が持って舞台を一巡することなのです。当然のことですが、重たい疲れます。つまり青年たちの体力養成の一環としておこなわれたものだったのです。これが平方勢獅子の中にあることで、青年たちは日頃から体力を鍛えておく必要があります。一巡できれば名誉なことですから、体力を競う場にもなったことでしょう。
平方勢獅子それ自体は天下泰平、五穀豊穡、家内安全を祈願し、和平安楽を感謝するものですが、実はもう一つ、こうした狙いもあったのです。



まだまだご紹介しきれないほどの、
見どころ・遊びどころ盛り沢山の
羽島市
きっと素敵な感動・発見・出会いがあることでしょう。



●芭蕉の句碑●

江吉良町水除神社にある、芭蕉の句碑。
昔から俳句は、大衆文芸として同好者が多く、この碑もそれらの人によって建てられました。市指定史跡になっています。



●ジェットスキー・ウインドサーフィン●

木曾川は、ジェットスキーやウインドサーフィンのメッカ。ダイナミックに水しぶきをあげて、スリルとスピードの躍動感を満喫するビッグアクション。若い仲間たちで賑わっています。



●永照寺●

江戸時代の藩校を尾張から明治6年移築。本堂は、総ケヤキ・入母屋妻入り・唐破風向拝付き。聖堂建築の数少ない遺構として、県の文化財に指定されています。



●雨乞い踊り(長間神明社)●

晴天が続くおかげで、農作物に被害が出るのを困った村人が、雨乞いをしたのが始まり。現在は、8月の盆踊りの時に行われます。市文化財に指定されています。

エリアMAP



羽島の思い出とごいっしょにどうぞ。



レンコン料理

県内生産量の約6割を占める羽島市の特産品「れんこん」。ミネラルたっぷりのれんこんを使っためずらしい料理が、市内飲食店で味わえます。



なまず料理

木曽川、長良川、揖斐川で捕れる“なまず”は、昔から多くの人の大好物でした。羽島では今だにその味は生き、羽島の名物料理となっております。うなぎと比べて油がとてもなく、ダイエットにも最適な「なまず料理」は、ヘルシーライフを送る現代人にはぴったりの料理かもしれません。



みそぎ団子

羽島市竹鼻町には、古来より「みそぎ団子」という野趣豊かな珍菓があります。毎年6月30日の「みそぎ神事」の日や、7月1日・15日の「代々まつり」などの日に町内の菓子屋・餅屋などで売り出され、米粉のダンゴと赤味噌の入り混じった何とも言えない甘辛い素朴な風味が好評を呼んでいます。



羽島市観光協会推奨土産品

はしまだんご

岐阜羽島の自然豊かな土地で「はしまだんご」は作られています。原材料に国産米を使用し、安心して召し上がりがい

ただけです。また、冷凍保存ですので、いつでも食べたい時に食べたい分だけ、電子レンジで温めれば、出来たてのだんごが召し上がれます。



羽島の地酒「羽島のしずく」

桑原地区で作られた「日本晴」が原料の羽島の「地酒」。地元羽島の名前を冠して「羽島のしずく」と名付けられました。冷酒としてお召し上がりいただければ、一段と美味しいものになります。



アイガモ一家

害虫などをアイガモに駆除させた有機無農薬と市内の伏流水で作った独自ブランドの純米吟醸酒。

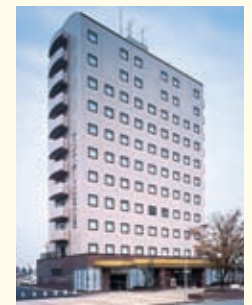
宿泊情報



かんぼの宿 岐阜羽島
〒501-6323 羽島市桑原町午南1041
TEL058-398-2631



アンディアーモ パルテンツァホテル
〒501-6255 羽島市福寿町浅平1-44
TEL058-391-1000



サンホテル岐阜羽島
〒501-6255 羽島市福寿町浅平1-72
TEL058-392-5000



東横イン
〒501-6302 羽島市舟橋町2-27
TEL058-397-2145



扇屋
〒501-6232 羽島市竹鼻町狐穴3231-1
TEL058-392-5806

＜タクシー＞

岐阜羽島バス・タクシー(株) ☎0120-058341
本社営業所 TEL058-391-4101
大須支店 TEL058-398-8206
岐阜交通㈱タクシー
羽島営業所 TEL058-398-1582
スイトタクシー
羽島営業所 TEL058-392-2570
日本タクシー
羽島営業所 TEL058-391-5634
日の丸タクシー
竹鼻営業所 TEL058-391-2006
岐阜近鉄タクシー
羽島駅営業所 TEL058-398-1433



携帯電話
ストラップ

羽島市観光協会の
かわいいキャラクター入り

オリジナル
スポーツタオル

その他にもいろいろあります。
詳しくは、羽島市観光協会ホームページ <http://hashimakanko.jp> をご覧ください。



主な目次

美濃竹鼻ふじまつり	1
竹鼻まつり・山車	3
大賀ハスまつり	5
Hashimaつばき・桜まつり	7
七夕まつり・なまずまつり	8
濃尾大花火・まつりカレンダー	9
三川分流	10
円空	11
美濃路街道	13
むかし話	15
羽島の特産品	17



美濃菊

市内正木町で改良された「一文字菊」の一種。優雅な大輪で、丸花弁が珍しい品種で、「市」の花です。東海地方独特の品種として愛好家も多く、毎年11月には美濃菊展が開催され、にぎわいます。